

高野山真言宗  
紫雲山菩提院  
西光寺

四国三十三観音霊場  
第2番札所  
百八観音霊場  
第41番札所

紫雲閣

題字 先住興源僧正筆

〒771-1702  
徳島県阿波市  
阿波町稲荷53  
TEL 0883-35-2784  
ホームページ  
<https://saikouji.tokushima.jp>  
発行所 西光寺  
発行人 澤善弘



本堂と修行大師像

12月31日 大みそか  
午後10時 護摩供  
午後11時20分 除夜の鐘



### 大輪の花が咲く

陸上男子百米の桐生祥秀選手、男子マラソンの設楽悠太、大迫傑選手が日本新記録を樹立されました。日本陸上界の短長距離界で一年経たない間に新記録が更新されたのはすごいことです。

桐生選手は、小さい頃当時の日本代表、朝原宣治選手の走りを見て、心から感動されました。あんな風に走りたい、と強く願い、努力を続けました。また、マラソンの設楽選手の走りは、ライバル選手たちに刺激を与えました。ある選手は、ただただ悔しい。次こそは勝つぞ。また、大迫選手はよし、自分もやってやるぞ。という風に、感じ方はそれぞれですが、すごいことを目の当たりにしたとき、人は必ずよい刺激を受けます。

刺激は夢や希望となり「向上心」へと結びつきます。密教では向上心を「菩提心(ほだいしん)」といいます。花の種が太陽の光、土壌の水分や養分を吸収し、上へ上へと成長して、美しい花を咲かせるように、人も夢や希望を持ち、目標に向かって努力を続ければ未来には必ず夢が叶いますということ、弘法大師空海さまは「発心(ほっしん)すれば即ち至る」というお言葉で私たちを導いてくださります。

花は見る人を感動させ芳しい香りは凛と心身を清めてくれます。各選手の走りは、まさに大輪の花です。人はみな、菩提心という種を持っています。研鑽を積み、周囲に光を放つような大輪の花を咲かせることが、「頂いた命を輝かせる」ということなのでしょう。

## 平成31(二〇一九)年 お寺の行事予定

1月27日(日) 星供開白

2月3日(日) 星供結願

6月 弘法大師降誕会

7月 大般若御祈祷

本町北(5日) 本町南(6日)

伊勢(第2日曜日・7日)

大次郎(日時場所未定・要相談)

森沢(土用入りの日・20日)

8月 初盆お参り


15日(木) 灯籠供養・仏送り

10月21日(月) 弘法大師御影供

12月31日 護摩供 午後10時〜

大晦日除夜の鐘

毎月 第1土曜(昼)写経  
月2回水曜(夜)ご詠歌



### 守護御札について

ご本尊阿弥陀如来さまに  
皆さまのภายใน安全、五穀  
豊穰、息災延命等を祈願  
した御札です。



### ○御札のまつり方

玄関(外でも中でも可)に、南向きか東向きに取り付けてください。ご本尊さまのおはたらきで、家中に魔が入り込むことを防いでくれます。取り付ける際押しピンではなく、なるべくテープを使用してください。何度も貼り直しが可能で、剥がした場所も傷まない、「マスキングテープ」がおススメです。

### ○古い御札について

御札の効果は一年間です。古くなったものは、ご参拝の節に、本堂前の「御札納め箱」にお納めください。お参りに伺うと、古い御札の上から、新しいものを貼る、「重ね貼り」を目にします。毎年、古い御札は剥がし、場所を清めてから新しい御札を取り付けてください。



### ほしく 星供厄除祈願

受付します  
1月20日締切

運勢の変わり目の節分に心身を一層清め、特別に皆さまの「厄難消除」を願う真言密教の秘法を星供(ほしく)といいます。

住職が1週間本堂に籠り、1日3座計21箇座の星供護摩を修し、皆さまの厄除祈願を致します。

詳細・申込は案内用紙をご覧くださいませ。





仏の智恵  
推薦図書

『ことばのお守り』

著者 天野こうゆう  
出版社 高野山出版社

高野山真言宗、本山布教師であられる天野先生の法話集。読む法話、聴く法話、観る法話の三章構成です。「祈る姿」など、先生のご法話はまさに心耕術です。是非ともご一読いただきたい一冊です。

『よく生きよく笑い  
よき死と出会う』

著者アルフォンスデーケン  
出版社 新潮社

大切な人の死や自らの死を避けることは、誰にもできません。

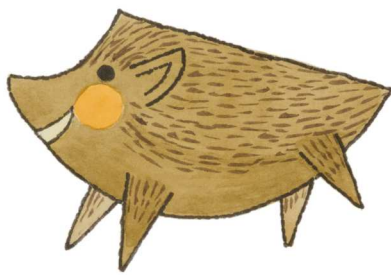
四十年間「死生学」を伝え続けたデーケン先生が、自らの体験も交えやさしく話す、「死」を乗り越えるためのヒントがここにあります。

平成三十一(二〇一九)年  
年忌繰出表

ご法事(回忌法会) 逝去の年

一 周忌	平成 三十年
三 回忌	平成 二十九年
七 回忌	平成 二十五年
十三 回忌	平成 十九年
十七 回忌	平成 十五年
二十五 回忌	平成 七年
三十三 回忌	昭和 六十二年
五十 回忌	昭和 四十五年
六十一 回忌	昭和 三十四年

お仏壇のお位牌をお調べください。ご法事を申し込まれる場合、お早めに寺へ日時・場所等の打ち合わせをご連絡お願い致します。



供養とは  
何か?

多くの寺院では、「来年は故人さまの第〇回忌ですよ」と、檀家さまにご案内します。あるお寺さまは、法事の案内はせずお正月に本堂に張り出して檀家さまが見に来られるそうです。またあるお寺さまは、法事の案内を一切しないそうです。

ここで問題です。どのお寺さまが最も有り難いのでしょうか。

答えは、案内をしないお寺さまです。えっ!と驚かされます。どうしてでしょうか。法事は、「自らが進んで行う善行」ですから、お寺に言われてから行うようでは功德が半減するのですよと、尊崇する和尚さまに教えていただきました。

善行(法事)がしたいという菩提心(ほだいしん)を大切にされているお寺さまなのですね。

「所為発菩提心 即為於諸如来広大供養」  
菩提心を発することが一切如来を供養する広大な儀式である『理趣経』

真言密教の大阿闍梨、中村公隆僧正さまは、次のように語られます。

「供養とは、菩提心を発すこと。：略：菩提心とは、仏さまに近づきましようということ。自分の本性が仏さまだということに、たまには気がついて、少しの時間でもそういう生き方をしてみようという気持ちになることです。そこに菩提心が発るのです。」

著書『楽しく嬉しく  
生きる秘訣』より

自分の生き方を見つめ直すきっかけを故人さまからいただく、これがご法事なのです。

仏事あれこれ  
Q & A

**Q** お仏壇の正しいまつり方は？

**A** 以下の通りです。

○ご本尊さま

右 弘法大師空海上人

中 大日如来（十三仏）

左 不動明王

※掛軸でも結構です。



お香(刻み等)を  
供える香炉  
なくともよい

○お位牌の場所  
位牌は最上段にまつりませ  
ん。本尊より一段下にまつり  
ます。本尊はお師匠さま、ご  
先祖さまはお弟子さまです。

○経机とお座布団  
経机には打鳴し・経本・念珠等を置きます。供物  
を沢山供えたいときは、ろうそくと線香立を経机に  
まつります。座布団には、前後表裏があり、縫目の  
ない方が前、絵柄が正しい向きになるのが表です。



授かった御札  
は空いている  
場所へ

一般的に半紙  
は平らかな方  
が本尊側です

ろうそく立、花瓶も  
正しい向きがあります

線香は3本  
線香立は足の  
1本が手前



経机

○お茶湯と仏飯  
熱いお茶と炊いたご飯をま  
つります。真言宗では、お水  
より、お茶を供えることが一  
般的です。

○三具足と五具足  
線香立・ろうそく・お花のまつり  
方は、スペースに応じて三具足（み  
つぐそく）でも五具足（ごぐそく）  
でもどちらでも結構です。



三具足  
花1、ろうそく1、線香立

五具足  
花・ろうそく1対、線香立

○お仏壇とは？  
毎日、菩提寺（先祖代  
々信仰するお寺）へお参  
りできないので、家の中  
に小さなお寺を建立する  
これがお仏壇です。

菩提寺のご本尊さま、  
高野山から弘法大師さま  
をお招きして座してい  
ただく。ご本尊さまは目  
見えませんが、皆さまが  
幸せで暮らせるよう、ご  
先祖さまが安らかであ  
られるよう、日々にご加護  
くださっております。

お仏壇は、皆さまが感  
謝の心で礼拝、ご修行な  
さる処です。拜むことで  
不思議な気づきがあり、  
物心（仏心）共に豊かに  
なります。仏さまのお智  
慧をお借りするトレーニ  
ングこそ、合掌です。



講師の田村先生

会員募集中です。一度、ご見学ください。



金剛講100周年お待受大会 (舞子ピラホテルにて)



# 般若心経 書の集い

〈開催〉

月1回 第1土曜日

午後1時30分より

2時間程度

※1、8月はお休み

〈場所〉西光寺本堂

〈参加費〉1千円/1回

〈講師〉

田村誠次(蒼空)先生



# 金剛流御詠歌 歌菩薩の会

〈開催〉

月2回 水曜夜

夏季 午後7時00分より

冬季 午後6時30分より

※1、8月はお休み

〈場所〉西光寺本堂

〈互助会費〉1千円/月

〈講師〉

住職 澤 善弘

## 一唱懸命

声に出して詠む

ご詠歌

遍照尊

作詞 細川本瑞

作曲 前田 勉

一、三鈷の松に月落ちて  
八葉蓮峰 かげくらし  
初更を告ぐる 鐘の音  
諸行無常と 響くなり

二、大師諸弟子に遺告給う  
不生不滅の 肉身を  
金剛定に 留めては  
我を念ずる 人々と

三、同行二人 常に在り  
真如の月は 永久に  
世々の間路を照らすなり  
南無大師遍照尊

遍照尊とは弘法大師空海さまのこと。この曲は別名、御遺告(ごゆいごう)和讃。御遺告とは、お大師さまが高野山の岩かげにお隠れになる際、弟子たちを集め、後の者に伝えるようお告げになられたお言葉です。

「私より後に生まれる者たちよ。例え、私の姿を見たことがなくても、私が描かれた軸や像を見る度に、真の空海の姿であると思いなさい。私の教えを聞いたたびに、本当の空海が発する言葉と思いなさい。さすれば、私は仏さまの不思議なお力をお借りしてあなたを見捨てることはありません。必ず救いきります。」

このお言葉通り、お大師さまの魂は「金剛定」という大日如来さまの瞑想に入り、今も生きておられます。そして、私たちが上も下もない真つ冥な所で心細く迷ったとき南無大師遍照金剛!と念ずればお月さまのような光で歩む道を照らして下

さります。時には、私たちの夢や心に現われてお導き頂けます。そのご誓願が「同行二人」です。

皆さまのご両親やご先祖さま、そしてお大師さまは、皆さまの心に寄り添っておられます。そのご加護を感じ、感謝する姿こそが、合掌です。

合掌には「左自分に右ほとけ」という大切な心構えがあります。左手は自分、右手は仏さまを表します。仏さまとはお大師さまであり、ご先祖さまです。合掌すればいつも一緒。これこそ「同行二人のこころ」です。

掌と掌の間には、まんなのお月さまがあります。真つ白で、清らかなお月さま。南無大師遍照金剛、と唱えることで、お月さまが光り輝きだします。この有難い光に照らされて心が前向きになり、お智慧を授かり、夢や目標、困難にも立ち向かう勇氣や元気が湧いてくるのです。

### 西光寺護持会

#### 役員

平成30年10月1日付

順不同  
敬称略

総代長 中井邦武  
総代 板東章智

安友勝明  
川人秀世  
川人芳正

役員の方々は、檀信徒代表としてお寺の護持のためにご尽力くださっております。

主な役割は、お寺の方針を話し合う、ご本尊さまの守護御札、ご法事の案内をお届けする、護持会お初穂を集めること等お寺と檀信徒の方々のお世話を務めてくださっております。

#### 会計

川人秀世 川人建介

#### 世話人

板東久志	板東夏弥
新森秀明	須見友一
小山忠行	小山恒夫
中井和宏	藤川善昭
中井計延	金井 功
岡田俊武	岩城義人
平島義弘	枝澤安司
枝澤利幸	川人永治
原田忠幸	川人 忠
細川敬雄	森友利雄
森友卓司	川人信人
楠本福一	安友 勤
田中照明	川人良亘
川人義朗	坂東博明
坂東忠一	香川保雄
田中敏文	佐藤一男

(ご退任)  
安友治夫



### 高野山真言宗

#### 参与会員

平成30年6月1日付

継続年数 入会順  
敬称略

28年	佐藤 一男
21年	板東 章智
12年	中井 邦武
12年	川人 秀世
12年	川人 建介
12年	榎原 浩二
12年	池本喜代子
12年	山岸恵美子
9年	山川 好信
6年	山川恵美子
6年	中井 和代
6年	芝 千鶴子
5年	木村 拓司
3年	山川 太郎
2年	安友 勝明
1年	佐藤 有里

### 参与会に入会

#### しませんか？

高野山真言宗参与会は弘法大師のみ教えを守り弘め、お大師さまの衆生救済のご誓願にお応えすることを目的とする信仰団体です。

参与会はいわば、弘法大師空海さまをお慕いするファンクラブです。

参与会に入会すると、『高野山教報』という新聞(ご法話や高野山の行事などの情報が満載)が毎月届きます。また、高野山参拝時の優待など、他にも会員特典を受けることができます。

西光寺では、年に1度定例会を開催し、親睦を深めております。



### 檀信徒の皆さまへ 護持会・初穂料 ご協力をお願い

『西光寺護持会』が発  
足して以来、お寺の護持  
営繕のために、檀信徒の  
皆さまには毎年浄財を募  
り、積立をさせていただ  
いております。

檀家の皆さまには、護  
持会費と初穂料の2種類  
をお願いしております。

年末、世話人さまが各  
家庭にご本尊さま守護の  
お札を届けてくださりま  
す。その際、世話人さま  
を通じて護持会と初穂の  
ご納入をお願いします。

世話人さま不在の地域  
にお住いの場合、住職ま  
でご相談くださいますよ  
うお願い申し上げます。

### お寺とお仏壇 について

檀信徒の皆さまの各お  
仏壇の中には、西光寺の  
ご本尊阿弥陀如来さま、  
弘法大師さまがお座りに  
なられ、皆さまの息災延  
命、家門繁栄、如意円満  
先祖代々増進仏果などを  
ご加護頂いております。  
つまりお仏壇は菩提寺の  
西光寺そのものです。

本堂にご鎮座なさるご  
本尊阿弥陀如来さまは檀  
信徒の皆さまをお導き下  
さるお師匠さまです。ご  
本尊諸仏が最大限におは  
たらきくださりますよう  
西光寺の護持営繕にご協  
力賜われますよう、心よ  
りお願い申し上げます。



### 護持会費の 使用目的

護持会費は、主に境内  
及び本堂等の建築物の護  
持・営繕のため、また12  
年に1度の大法事及び涅槃  
法要のために使用させ  
ていただいております。  
本堂は築36年、山門は  
築180年を超え老朽化が進  
んでおり、将来の為に積  
立をさせていただいてお  
ります。 8千円/年

### 初穂料の 使用目的

初穂料は、ご本尊さま  
と檀信徒の皆さまのご先  
祖さまに対するお供え料  
(線香、ろうそく、花、  
仏飯、供物等)として使  
用させていただいており  
ます。 2千円/年

### ご納入について

- 時期 毎年12月頃
- 納入方法 ① 世話人さまに  
お渡しする

- ② お寺に持参
- ③ 現金書留
- ④ 振込

○金額 1万円

(護持会初穂の合計)

#### ④振込先

- 阿波町農協久勝支所
- ・金融機関店舗番号 8296-104
- ・貯金種目 普通預金
- ・受取人 宗教法人西光寺
- ・口座番号 3993798

### 護持会会計報告

毎年、西光寺役員総会  
(総代・世話人会)にお  
いて会計報告を行ってお  
ります。

護持会会計に関する疑  
問等がございましたら、  
地域の世話人さまへお問  
い合わせいただくか、世  
話人さまがおられない場  
合、直接西光寺までお尋  
ねいただきますようお願い  
いたします。

皆さまのご理解とご協  
力に、心より感謝申しあ  
げます。

西光寺護持会



仏壇・仏具・神具・墓石・石材工事

## ぶつだんのもり

お問い合わせ、ご注文は  
☎(0883)36-1115

〒776-0001 吉野川市鴨島町  
牛島字四ツ屋90-1(かもじま店)



メガネ・補聴器・宝石・時計

## ジュエリー サトウ

あなたの快適ライフを応援します。

阿波町大原11-1

☎(0883)35-2306



料理

## 魚安

営業日/ 月～土曜日  
定休日/ 日曜日  
営業時間/ 夜.17:00～

阿波町庚申原121

☎(0883)35-7260

各宗派葬儀・御法要・花環・籠盛等

## セレモニーはやし

阿波町丸山3-2

☎ (0883)35-2073  
FAX (0883) 35-2736

セレモニーホール

## マルミヤ

(会館葬儀・自宅葬儀・寝台車・花輪)


市場町山野上字大西181-1

☎ (0883)36-7111  
FAX (0883) 36-7035

## 第65回徳島駅伝

阿波市チームに温かい応援を  
賜わりありがとうございます。

お陰様で前回は11/16位でした。  
今回10位以内を目指します!!  
1月5日阿波市を通過します。  
沿道で応援をお願いします!




ロープウェイ ケーブルカー

四国八十八カ所21番 四国八十八カ所66番

太龍寺 雲辺寺  
こんぴら奥の院 四国八十八カ所85番  
箸蔵寺 八栗寺



寺だより  
広告募集中です

「寺だより紫雲閣」に  
広告を掲載しませんか?  
ご本尊さまのご縁によっ  
て、皆さまがつながって  
いただければ…と願いを  
込めての掲示板です。  
次年より、発行回数を  
増やし、複数回のお届け  
を予定しております。

□掲載料

- ・ 西光寺護持会員の方  
1口 3千円
- ・ 法人、団体等  
1口 5千円

その他ご縁のある方

編集後記

「心暗きときは遣う所  
ことごとく禍いなり。  
眼明らかなれば途に  
触れてみな宝なり。」  
(心が暗いときは、見  
聞する全てが、災いと  
なってしまう。しかし、  
心が明るければ、する  
ことなすことが順調  
に運ばれ、すべてが宝  
ものにうつる。)

『性霊集』弘法大師  
思い通りにならぬ  
人生。菩提心を忘れ  
ずに明るく前を向き  
たいものです。ありが  
とうございました。

西光寺HP  
スマホでQRコード  
読取できます。

